※令和４年度以降入学生用

学校番号	４１０

令和５年度　公共

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　公共　（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・『公共』では政治，法，経済，職業生活，国際社会について学びます。社会に生きる一人の人間として、現代社会の問題を知りその解決に向けて必要な知識や技術を身に付けます。
・授業で得た知識を活用し，他の人と意見を共有するためのワークを行います。日頃からニュースを確認するなど、様々な課題や意見に触れ，自分の考えを持つ習慣を身につけておきましょう。

２　学習の到達目標

現代の諸課題を正しく捉え、解決に向けて適切な資料から情報を収集し，基本的な原理を活用して思考する力を身に付けている。社会に生きる一人の人間として、基本的人権を尊重し政治に参画するために必要な知識を身に付けている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手がかりとなる概念とともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身に付けている。	よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権をになう公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚がある。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	社会の中の私たち	第１章 第１節 ①私たちの生きる現代社会 ②青年期について考えよう ③悩むことについて考えよう ④ジェンダーについて考えよう ⑤学ぶことについて考えよう ⑥社会参画とキャリアについて考えよう 第２節 ①宗教について考えよう ②日本の思想について考えよう。 ③日本の伝統と文化について考えよう。	a:自らの体験などを振り返ることを通して，人間としてのあり方生き方について理解している。人間は，個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに，対話を通して互いのさまざまな立場や価値観を理解し高め合うことのできる社会的な存在であることを理解している。 b:社会に参画する自立した主体とは，地域社会などのさまざまな集団の一員として生き，他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し，表現している。 c:公共的な空間における課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	定期テスト 小テスト ワーク	定期テスト ワーク	授業ノート ワーク
	思想から学ぶべきもの	第２章 第１節 ①よく生きる　古代ギリシアの思想 ②人とは何か　古代中国の思想 ③動機と結果　近代西洋の思想 ④公平と正義　現代の思想	a:人間としてのあり方生き方に関わる諸資料から，よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し，読み取る技能を身に付けている。 b:倫理的価値の判断において，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し，自らも他者も共に納得できる解決方法を見い出すことに向け，考察する活動を通して，人間としてのあり方生き方を多面的・多角的に考察し，表現している。 c:公共的な空間における人間としてのあり方生き方について，現代社会に見られる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	定期テスト 小テスト ワーク	定期テスト ワーク	授業ノート ワーク

※令和４年度以降入学生用

	私たちの社会の基本原理	第３章 第１節 ①近代立憲主義の原理 ②近代立憲主義の広がり ③日本国憲法 ④平等に生きる権利 ⑤自由に生きる権利① ⑥自由に生きる権利② ⑦人間らしく生きる権利 ⑧広がる人権の考え方 ⑨人権保障の国際的な広がり	a: 人間の尊厳と平等，個人の尊重，民主主義，法の支配，自由・権利と責任・義務など，公共的な空間における基本的原理について日本国憲法を踏まえて理解している。 a:公共的な空間における基本的原理について，考察する活動を通して，個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し，表現している。 c:日本国憲法を踏まえて現代社会に見られる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	定期 テスト 小テスト	定期 テスト ワーク	授業 ノート ワーク
2	私たちと法	第１章 第１節 ①社会規範と法 ②私たちの生活と法 ③契約の考え方 ④消費者の権利と責任 ⑤司法の役割 ⑥刑事裁判とその課題	a: 法や契約及び司法参加などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，憲法の下，適正な手続きに則り，法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し，個人や社会の紛争を調停，解決することなどを通して，権利や自由が保障，実現され，社会の秩序が形成，維持されていくことについて理解している。現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した法的主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 b:自立した法的主体として解決が求められる具体的な主題について，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c:法や規範の意義及び役割，多様な契約及び消費者の権利と責任，司法参加の意義などに関わる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	定期 テスト 小テスト	定期 テスト 小テスト 授業 ノート	授業 ノート レポート

※令和４年度以降入学生用

	私たちと政治	第２章 第１節 ①政治と権力 ②議院内閣制と国会 ③権力分立と行政の役割 ④地方自治の役割 ⑤政党政治ｔメディア ⑥選挙制度とその課題	a: 政治参加と公正な世論の形成，地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，よりよい社会は，憲法の下，個人が議論に参加し，意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれていくものであることについて理解している。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した政治的主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 b:自立した政治主体として解決が求められる具体的な主題について，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c:政治参加と公正な世論の形成，地方自治などに関わる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	定期 テスト 小テスト	定期 テスト 小テスト 授業 ノート	授業 ノート レポート
		第２節 ①国家と国際法 ②日本の主権と領土 ③平和主義と日本の防衛政策 ④これからの日本の安全保障 ⑤国際連合の役割と活動 ⑥紛争とテロリズム ⑦核兵器と軍縮の課題 ⑧国際協力と日本の役割	a: 国家主権，領土（領海，領空を含む。），我が国の安全保障と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，よりよい社会は，憲法の下，個人が議論に参加し，意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解している。 b:自立した政治主体として解決が求められる具体的な主題について，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c:国家主権，領土（領海，領空を含む。），我が国の安全保障と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	定期 テスト	定期 テスト ワーク	授業 ノート

※令和４年度以降入学生用

3	私たちと経済	第３章 第１節 ①経済とその考え方 ②市場のメリットと限界 ③企業の目的と役割 ④金融の役割 ⑤政府の役割と財政の機能 ⑥日本の財政の課題 ⑦経済の変動	a: 市場経済の機能と限界，金融の働き，財政及び租税の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した経済主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 b:自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題について，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c:市場経済の機能と限界，金融の働き，財政及び租税の役割などに関わる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	定期 テスト 小テスト	定期 テスト 小テスト 授業 ノート	授業 ノート レポート

※令和４年度以降入学生用

		第２節 ①産業構造の変化と職業選択 ②中小企業と農業 ③労働者の権利 ④雇用と労働に関する課題 ⑤社会保障の役割と意義 ⑥社会保障制度の課題	a:職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 b:自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題について，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c:職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	定期 テスト ワーク	定期 テスト ワーク	授業 ノート
		第３節 ①国際経済のしくみ ②国際経済の枠組み ③地域経済統合 ④グローバル化と自由貿易協定 ⑤国際経済の変化と課題 ⑥経済格差の是正	a:　経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 b:自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題について，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c:経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む）などに関わる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	定期 テスト 小テスト ワーク	定期 テスト ワーク	授業 ノート ワーク

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度